

## I 本宮市の市章等

### 1 市章 (平成19年1月1日制定)



本宮市の頭文字「も」をモチーフにデザイン化。  
「豊かな自然（水・緑・川）」「飛翔する鳥」「合併の2町村」  
をイメージすると共に未来に向かって飛躍・発展する新市を力  
強くシンボライズしています。

### 2 市の花、木、鳥 (平成19年5月9日制定)

市の花：ぼたん（牡丹）



ボタン科に属する落葉低木。中国原産。その花の美しさから  
“百花の王”とも呼ばれ、観賞用や漢方薬として古くから栽培  
されてきました。「ぼたん」は多くの人々に愛され親しまれて  
きた当地方を代表する花であることから、本宮市のシンボルに  
ふさわしい花といえます。本宮市が百花の王「ぼたん」のよう  
に未来に向かって咲き続けることを願うものです。

市の木：まゆみ（欅）



ニシキギ科の落葉小高木。初夏に淡緑色の小花を多数つけ、  
秋には赤い果実が見られます。「まゆみ」は当地方に多数自生  
しており、万葉集の東歌（アズマウタ）には「陸奥の安太多良  
真弓」（ミチノクノアダタラマユミ）と詠まれた歌が二首あり、  
古今和歌集にも「みちのくの安達の真弓」と読まれています。  
また、「まゆみ」は春の芽吹きから秋の紅葉まで、人々の心に  
親しみを与える木であり、本宮市のシンボルにふさわしい樹木

といえます。当地方の「まゆみ」は、奈良時代から都の人々まで知られており、今日、市  
の木としてクローズアップされることは、文化の伝承という点からみても意義あるものと  
いえます。

市の鳥：うぐいす（鶯）



ウグイス科に属する体長15cm程度の小鳥。日本のはば全  
土に分布する漂鳥で、夏は山地に近い林間に住み、冬は人里近  
くに移ります。平地で鳴き始める季節が早春であることから、  
春告鳥（ハルツゲドリ）の別名があります。市内全域に生息し、  
その愛らしい鳴き声で古くから市民に親しまれていることから、  
本宮市にふさわしい鳥といえます。「うぐいす」の明るく  
元気なさえずりは、本宮市を象徴するかのようで、人々の心を  
なごませてくれます。

### 3 本宮市民憲章（平成26年1月1日制定）

#### （前文）

わたくしたちは、美しい安達太良山を望み、阿武隈川の豊かな流れにはぐくまれ、歴史と伝統を受け継ぎ、未来に大きな夢を抱いて躍進する本宮市の市民です。

わたくしたちは、本宮市民であることに誇りと責任を持って、新しい文化を創造し、自然と共に生きる住みよいもとみやをつくるために、ここに市民憲章を定めます。

#### （本文）

1. 水と緑を大切にするもとみやをつくります。
2. 支えあいの輪が広がるもとみやをつくります。
3. 豊かな文化をはぐくむもとみやをつくります。
4. 子どもが健やかに育つもとみやをつくります。
5. 元気に働き、夢を実現するもとみやをつくります。

### 4 本宮市民の歌（平成26年7月1日制定）

#### みずいろのまち

作詞：石原一輝

補作詞：本宮市市民憲章及び市民の歌検討委員会

作曲：YUKIYOSHI

1. 安達太良山の朝の日にあかるい希望が湧いてくる  
ゆたかな自然にいだかれて笑顔あふれるもとみやは  
みんなの心をむすぶまち

2. 阿武隈川のきよき水うるおす恵みもあたたかい  
あらたな息吹がしあわせと生命はぐくむもとみやは  
みんなが明日をめざすまち

3. 文化の花が虹と咲きふれあう人の和羽ばたいて  
かさねる歴史もほこらしく未来かがやくもとみやは  
みんなの喜びはずむまち